

令和 7 年度 500 t 受水槽加圧用ポンプ制御盤修繕仕様書

1 場所

大阪急性期・総合医療センター 500 t 受水槽室

2 修理について

〔状態〕

500 t 受水槽加圧用ポンプ制御盤が故障しており制御ができていない。
現在は 500 t 受水槽加圧ポンプ用制御盤を介さずにポンプ 2 台を運転している。

〔加圧用ポンプ制御盤システム内容〕

合流管に設置した圧力センサーからの信号を受けポンプコントローラーに取り込み、使用水量の変化に応じ、ポンプ回転数をポンプコントローラーにより可変し圧力をほぼ一定にし制御している。

使用水量の変化に応じ、1 台のポンプで給水量をまかないきれない場合は、もう 1 台のポンプを運転させて 2 台の並列運転を行う。さらに使用水量が増大し 2 台のポンプで給水量がまかないきれない場合は、もう 1 台のポンプを運転させて 3 台の並列運転を行う。ただし並列運転をするのは 3 台までで、4 台の並列運転は行わず、残り 1 台は予備機として待機する。

〔注意事項〕

- ①500 t 受水槽加圧用ポンプ制御盤電源及び制御配線全ての盛替えは、別紙制御図面を参考にし既存通りの運用ができるよう施工すること。
- ②主電源の切替えなどによるポンプの停止は 30 分程度に収めるよう計画を行うこと。
30 分以上かかる場合は、仮設ポンプなどを設置し対応すること。
また、停電日はセンターの給水負荷が少ない休日に行うこと。休日は以下とする。
イ、土曜日及び日曜日
ロ、国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
ハ、12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（イ及びロを除く。）
- ③取付ける 500 t 受水槽加圧用ポンプ制御盤は現状と同等の性能を有するものとする。現状の性能については〔加圧用ポンプ制御盤システム内容〕による。
- ④作業については、センターの運営に支障のきたさないようセンター監督職員と協議の上その指示に従うこと。
- ⑤受水槽ポンプ室の詳細については修繕計画図を参照すること。
- ⑥騒音・振動・臭気、停電、断水等のセンター運営等に影響を及ぼす作業については、

あらかじめセンター監督職員と打ち合わせること。

⑦作業終了後に試運転を実施し、動作確認をすること。

⑧発熱(37.5℃以上)や風邪症状がある者をセンター敷地内にて作業させないこと。

⑨各種法令を遵守し、安全に作業を行うこと。

⑩本書に記載なき事項については、センター監督職員と協議すること。

3 工期

工期は、令和8年3月31日(火)までの間とする。

4 完了報告書

作業完了後、完了報告書と完了届を提出すること。(完了報告書の様式は問わない)

5 運転検査

本修繕が完了した際は、速やかに運転検査を行い、機器に異常がなく正常に動作することを確認する。